

スポーツ文化ツーリズムアワード2024 【文化ツーリズム賞】入賞

(申請団体)

琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会

フィールドミュージアム「琵琶湖疏水」の魅力発信等による 文化・景観や観光振興への貢献



取組概要

衰退の危機にあった京都のまちを再生と飛躍に導いた「琵琶湖疏水」は、竣工から130年以上経った今でも、京都のまちに命の水を運び続ける重要な都市基盤となっており、その意義を多くの方に伝えるため、平成元年に「琵琶湖疏水記念館」を開館。平成30年には、約70年振りの舟運復活となる「びわ湖疏水船」の運航を官民協働の下で成し遂げるなど、琵琶湖疏水沿線の魅力向上や文化観光の推進及び沿線地域への周遊促進等による地域活性化のための各種取組を推進した。

評価ポイント

- 地域の歴史的・文化的な背景や日本遺産のストーリーを生かしたコンテンツにより経済効果につなげている。
- 情報発信、地域経済への貢献、インバウンドコンテンツとしての将来性など、あらゆる点において評価できる。
- 「そすいさんぽ」の散策道のようにいつでもだれでも楽しめる仕組みなど、ハード整備と併せてソフト面での整備・魅力づくりが考えられている。